

平成26年度 教育委員会 第7回定例会 議案

1 日 時 平成26年7月7日(月) 午前10時

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

第14号議案	西部特別支援学校の敷地の選定	…	1
第15号議案	平成27年度静岡県立高等学校学科改善	…	3
<非>第16号議案	静岡県立中央図書館協議会委員の任命	…	非
<非>第17号議案	平成26年度指導力不足教員審査委員会委員の委嘱	…	非
<非>第18号議案	教職員の懲戒処分	…	非

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第 14 号議案

西部特別支援学校の敷地の選定

次のとおり選定する。

学校名	移転先の住所
西部特別支援学校	浜松市北区根洗町字西 597 番 1

平成 26 年 7 月 7 日

静岡県教育委員会教育長

西部特別支援学校の敷地の選定

1 西部特別支援学校の概要

平成 23 年 3 月に策定した「静岡県立特別支援学校整備計画」に基づき、児童生徒の障害の重度・重複化、多様化に対応できる教育環境を整備するため、施設老朽化が進む西部特別支援学校校舎の老朽改築等を実施し、肢体不自由を対象とした特別支援学校を平成 29 年 4 月開校を目差して整備する。

2 敷地選定の経緯

候補地選定に当たっては、通学の利便性、医療機関との連携、面積、画地、造成、取得・建築、安全、地域等の各要件を選定基準とし、総合的に判断した結果、平成 27 年 4 月の移転統合に伴い、廃止となる引佐高校の果樹園の敷地に設置することとした。

3 その他

現地改築については敷地狭隘で校舎建築スペースがなく、肢体不自由特別支援学校という性質上仮設校舎による建て替えも困難なことから、他の敷地への移転により整備する。

第 15 号議案

平成 27 年度静岡県立高等学校学科改善

平成 27 年度静岡県立高等学校学科改善について、別紙のとおり決定する。

平成 26 年 7 月 7 日提出

静岡県教育委員会教育長

(別紙)

平成 27 年度静岡県立高等学校学科改善

1 学科改善のねらい

- (1) 生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等に対応し、学習内容の改善を図る。
- (2) 技術革新や情報化、国際化、少子・高齢化等の社会変化に対応し、学習内容の改善を図る。
- (3) 魅力ある学校づくりを推進する。
- (4) 『静岡県立高等学校第二次長期計画』(平成 17 年 3 月) の推進を図る。

2 平成 27 年度学科改善の概要

学校名	改善前	改善後
掛川工業 (全日制)	機 械 科 電 子 機 械 科 電 子 電 気 科 情 報 技 術 科 設 備 シ ス テ ム 科	(変 更 な し) 環 境 設 備 科
引佐 (全日制)	産 業 技 術 I ・ III 科 産 業 技 術 II 科	浜松湖北高等学校へ再編
気賀 (全日制)	普 通 科 商 業 科	浜松湖北高等学校へ再編
三ヶ日 (全日制)	普 通 科	浜松湖北高等学校へ再編
浜松湖北 (全日制)		普 通 科 産 業 マ ネ ジ メ ン ト I 科 産 業 マ ネ ジ メ ン ト II 科 産 業 マ ネ ジ メ ン ト III 科

<参考資料>

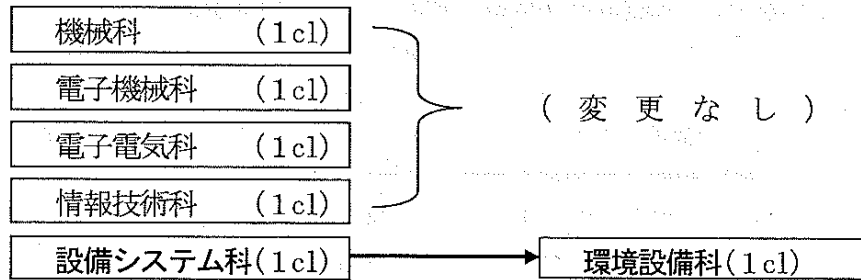
掛川工業高校の学科改善

1 改善の理由

- (1) 本県産業教育審議会の答申(平成19年9月)においては、工業科における各学科の専門性を維持しつつも、学科及び教科の横断的な学習を取り入れ、総合的に考え抜く力を育成する必要があると述べられている。
- (2) 「設備システム科」においては、これまで企業等における設備に関する学習を中心に行ってきたが、産業構造の変化や地域企業の人材要請等に対応するために、生産環境に加え、住環境や生活環境にまで学習の対象を広げる。

2 改善の概要

- (1) 「設備システム科」について、従来の教育内容を改善し、設備に関する学習内容を企業から住・生活環境まで幅広く学ぶことができる「環境設備科」とする。
- (2) 地域企業の幅広い人材要請に応えるため、併設する学科の機械・電気に関する科目や大学等への進学に対応できる科目を選択できるように、柔軟な教育課程を整備する。



※上記の学科改善にともなう、あらたな財政負担は生じない。

<参考>

○掛川工業高校学科改善の沿革

年度	昭和53年	昭和54年	平成元年	平成3年	平成5年	平成10年	平成27年
設置学科	機械						→
			電子機械(新設)				→
	電気					電子電気(学科改善)	→
					情報技術(新設)		→
		設備工業(新設)		設備システム(学科改善)			→
							環境設備科(学科改善)

○本県の工業高校における学科設置状況

分野\設置校	科学技術	浜松工業	沼津工業	吉原工業	島田工業	掛川工業	浜松城北工業
機械系	機械工学	機械	機械	機械	機械	機械	機械
電子機械系	ロボット工学			電子機械	電子機械	電子機械	電子機械
電気系	電気工学	電気	電気	電気	電気	電子電気	電気
電子系	電子工学		電子	電子			電子
情報系	情報システム	情報技術			情報技術	情報技術	
建築系	建築デザイン	建築	建築		建築		
土木系	都市基盤工学	土木	土木		都市工学		
化学系	物質工学	システム化学	物質工学	システム化学			
設備系						設備システム	
理工系	理工(理数科)	理数工学		数理工学			
デザイン系		デザイン					

<参考資料>

浜松湖北高等学校

1 設置の基本理念

引佐高等学校、気賀高等学校及び三ヶ日高等学校を発展的に再編し、高等学校としての適正規模の実現を図り、これまで3校が地域で果たしてきた役割や伝統を踏まえ、普通科、農業科、工業科及び商業科を有する浜松湖北高等学校を設置する。

浜松湖北高等学校は、生徒一人ひとりの個性を大切にしながら多様な教育活動を展開し、新しい時代に対応した教育を実現し、地域に求められる人材育成を目指す。

2 概要

開校年度	平成27年度
設置場所	現引佐高等学校校地
学校規模	1学年8学級（320名）
設置課程・学科	学年制による全日制の課程 普通科（4学級）、農業科（1学級）、工業科（2学級）、商業科（1学級）
教育目標	地域の資源や人材を活用し、特色ある教育活動を通して、豊かな教養と確かな勤労観を持った、地域社会の発展に貢献できる人材を育成する。
教育方針	(1) 自ら考え、自ら学び、自ら体験することで、自分の進路を見出すことができる、「こころざし」を持った生徒を育成します。 (2) 人・地域とのかかわり合いを大切にし、様々な教育活動を通して、「健やかな心身」を持った生徒を育成します。 (3) 学科や類型の枠を越えた科目選択を実現することにより、幅広い視野を身につけ、「豊かな人間性」を持った生徒を育成します。
設置学科及び類型 (類型は仮称)	・普通科【4学級】文系、理系、人間科学、総合キャリア類型 ・農業科【1学級】栽培科学、食品科学類型 ・工業科【2学級】機械技術、電気・情報技術類型 ・商業科【1学級】
学校の特色	(1) 普通科 ア 基礎学力の定着を図る科目から応用力を身につける科目まで、各自の学力に応じて選択できる。 イ 生徒が自分の興味・関心や進路希望等に応じて、他学科や他類型の多様な科目の中から、主体的に科目を選択できる。 (2) 産業マネジメント科（仮称） ア 産業構造の変化、技術の進捗等に柔軟に対応できる創造的な人材を育成するため、農業・工業・商業の連携を強化し、他分野についても学習できるようにする。 イ 6次産業化や農商工連携を意識した新しい産業の創出・創造を目指し、学科・類型の枠を越えた学習を推進する。

3 これまでの経緯

平成22年～24年度 引佐地区新構想高等学校（仮称）設置準備委員会を設置し、教育目標、教育計画等について検討

平成25年度 引佐地区新構想高等学校（仮称）開校準備委員会を設置し、開校に向けた具体的な準備・検討を開始

平成25年9月 校名募集

平成26年3月 校名決定（2月県議会）

第7回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
1	監査結果に関する報告	1
2	平成26年度全国学力・学習状況調査を活用した早期対応策の結果分析及び対応策の公表	3
3	補助教材の選定等についての調査結果 補助教材使用届等による採択状況調査	4
配布 のみ	静岡県ゴルフ場協会によるゴルフ振興について	6
	静岡県スポーツ推進計画(案)に対するパブリックコメントへの対応について	7

監査結果に関する報告

(教育総務課)

1 監査の結果

平成 26 年 6 月 27 日に、今年度、第 1 回目の監査結果の報告があった。
教育委員会については、6 月 20 日に実施した 6 箇所の県立学校等に係る監査について、別紙のとおり 1 件の指摘、3 件の注意、2 件の指導を受けた。

2 指摘等事項の概要

指摘の 1 件は、清水西高校における教員による生徒への体罰行為の発生に関するものである。

注意の 3 件は、行政財産使用料の算定誤りが 1 件、業務委託の不適切な履行確認が 1 件、交通加害事故の発生が 1 件である。

指導は、督促状の未発行など財務に関するものが 2 件であった。

3 監査結果の公表

監査結果は、県政の現状や課題等について県民への説明責任を果たすため、6 月 30 日に監査課から記者提供された。

4 今後の対応

監査結果に対する措置状況は、平成 26 年 9 月 26 日までに監査委員へ報告する。

(別紙)

指摘 1 件

監査箇所 監査実施日	指摘等の 区分	指摘等事項	
清水西高等学校 平成 26 年 6 月 20 日	指摘	件名	教員による生徒への体罰行為の発生
		内容	清水西高等学校の教諭は平成 23 年 5 月、部活動の指導の際、生徒を床に引き倒し顔を拳で殴るなどの体罰を行った。

注意 3 件

監査箇所 監査実施日	指摘等の 区分	指摘等事項	
中央図書館 平成 26 年 6 月 20 日	注意	件名	行政財産使用料の算定誤り
		内容	平成 25 年度の複写機設置のための行政財産使用許可に伴う使用料の算定を誤り、使用料の過徴収が発生していた。
清水東高等学校 平成 26 年 6 月 20 日	注意	件名	委託業務の不適切な履行確認
		内容	平成 25 年度の消防用設備等保守点検業務委託で、委託要領の点検対象設備の数量と点検結果報告書の数量が一致していないにもかかわらず、そのまま委託料を支払っていた。
清水西高等学校 平成 26 年 6 月 20 日	注意	件名	交通加害事故の発生
		内容	平成 25 年度に 2 件、通勤途上で交通加害事故が発生していた。

指導 2 件

指 導	
件名	督促状の未発行
内容	平成 25 年度の雑収（電気料などの私用者負担分）の納入が約 2 ヶ月遅延しているにもかかわらず、督促や債権管理簿による管理が行なわれていなかった。
件名	委託業務の不適切な履行確認
内容	平成 25 年度の給食配膳業務委託で、受託業者が委託要領で定められた従業員名簿を期限内に提出しておらず、従業員の保菌検査も業務開始前に実施しており、不適切な点があるにもかかわらず受託業者を指導することもなく報告書を受理していた。

平成 26 年度全国学力・学習状況調査を活用した

早期対応策の結果分析及び対応策の公表

(義務教育課企画・指導班)

1 公表の目的

- ・早期対応策の調査結果の分析及び対応策を公表することにより、静岡県
の児童生徒の学力の課題と現状について県民と共有し、地域総がかりによる
児童生徒の学力向上対策に活用する。
- ・市町教育委員会、学校の公表に向けた参考資料に資する。

2 公表内容

「先生のためのチア・アップファイル～授業改善に向けての道しるべ～」
※平成 26 年度全国学力・学習状況調査を活用した早期対応策によって得ら
れた結果について教科毎に指導学年や領域別（数と計算、図形など）の
分析及び対応策をまとめたもの

3 分析及び対応策の作成組織

- (1) 全国学力・学習状況調査分析会組織
国語科分析班、算数・数学科分析班、学習状況等総合分析班
- (2) 分析会参加者
教育事務所地域支援課指導主事
総合教育センター総合支援課指導主事
義務教育課指導主事

4 分析及び対応策の内容

- (1) 領域表
今年度の調査問題の指導学年及び領域別の分類表
- (2) 数値表（設問別）

◆ 算数A I (2)	率
H26 県 早期対応の平均正答率	93.4
H21 類似問題 全国正答率	85.7
標準通過率 (SPEC)	90

←年度の早期対応策による県の設問別平均正答率

←過去の類似問題の全国正答率

(3) 現状と対策

- ・現状は課題のある問題を中心に解説
- ・対策は課題を改善するための手立てや授業改善のヒントを掲載

補助教材の選定等についての調査結果

(義務教育課 企画・指導班)

1 調査方法

(1) 実施日

平成26年5月22日(木)～6月11日(水)

(2) 調査方法

市町教育委員会(政令市を除く)を通じて管内公立小中学校を調査

2 調査結果

設 問	区 分	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9
		職員会議等で、補助教材の取扱い等について共通理解する場を設けた。	前年度使用した補助教材の効果を検証した。	複数の教材見本を収集した。	複数の教材見本を比較・検討して選択した。	複数の教職員のみで選択作業をした。	選択規準を設けて、それに基づいて選択した。	教材を使用する年度の校長が最終決定をした。	市町教育委員会に補助教材の使用届等を提出した。	補助教材の必要性や取扱い等について、保護者会や通を 設定した。あるいは、保護者等の意見を聞く場
小学校	はい	320 99.7%	307 95.6%	321 100%	321 100%	319 99.4%	289 90.0%	321 100%	321 100%	224 69.7%
	いいえ	0 0%	8 2.5%	0 0%	0 0%	2 0.6%	16 5.0%	0 0%	0 0%	23 7.2%
	今後予定	1 0.3%	6 1.9%				16 5.0%			74 23.1%
中学校	はい	166 97.6%	159 93.5%	170 100%	170 100%	167 98.2%	147 86.5%	170 100%	170 100%	112 65.8%
	いいえ	0 0%	3 1.8%	0 0%	0 0%	3 1.8%	9 5.3%	0 0%	0 0%	12 7.1%
	今後予定	4 2.4%	8 4.7%				14 8.2%			46 27.1%
合計	はい	486 99.0%	466 94.9%	491 100%	491 100%	486 99.0%	436 88.8%	491 100%	491 100%	336 68.5%
	いいえ	0 0%	11 2.2%	0 0%	0 0%	5 1.0%	25 5.1%	0 0%	0 0%	35 7.1%
	今後予定	5 1.0%	14 2.9%				30 6.1%			120 24.4%

補助教材使用届等による採択状況調査

(義務教育課 企画・指導班)

1 調査実施の経緯

平成 26 年度県議会 6 月定例会一般質問において、和田篤夫県議（自民改革会議）より「各学校の補助教材の採択状況について調査をすべき」との質問を受け、教育長から「どのような教材が補助教材として採択されているのかについて、市町教育委員会の理解と協力を得ながら、その実態把握を実施する方向で検討する」との答弁。こうした経緯から調査を実施することとなった。

2 調査方法

(1) 調査開始日

平成 26 年 7 月 7 日（月）

(2) 調査対象

政令市を除く市町教育委員会学校教育主管課

(3) 調査内容

平成 25 年度と平成 26 年度における市町教育委員会が所管する公立小中学校の小学校 1 年生から中学校 3 年生が計画的・継続的に使用している補助教材

ア 学年

イ 補助教材の種類（单元テスト、ドリル、資料集など）

ウ 出版社名

エ 当該補助教材を使用する児童生徒数

オ その他、必要事項

(4) 調査方法

市町教育委員会が定めた学校管理規則等に基づき、公立小中学校から年度当初に市町教育委員会に提出された補助教材使用届等をもとに、県教育委員会が補助教材の上記事項について調査を行う。

3 調査結果の公表

(1) 公表時期

県議会 9 月定例会において、調査結果等をまとめた資料を県議会議員に配布

(2) 公表内容

平成 25 年度と平成 26 年度の政令市を除く県全体の学年別種類別の各出版社の採択率

(件名)

静岡県ゴルフ場協会によるゴルフ振興について

(スポーツ振興課)

(要旨)

静岡県ゴルフ場協会では、平成 26 年 4 月 1 日より、会員ゴルフ場を通じた、「静岡県ゴルフ振興基金」を発足し、これを活用して静岡県を日本一のゴルフ振興県とすることを目差し「静岡県ゴルフ特区」の設立を宣言した。その事業として静岡県下の高等学校の選択授業や中学・高校の課外活動に積極的にゴルフを取り入れていただくための支援事業等を計画している。

この機会にぜひ静岡県ゴルフ場協会によるゴルフ事業を取り入れ、授業・部活動支援として活用の検討をお願いする。

(概要)

静岡県ゴルフ場協会によるゴルフ振興

1 高等学校授業支援

項 目	内 容
講師の派遣	学校やゴルフ場におけるゴルフレッスンやエチケット、マナー等の直接指導を行う講師の派遣
ゴルフ場等施設の提供	授業として取り入れた学校が授業で使用する場合のゴルフ場、ゴルフ練習場の使用料減免
ゴルフ用具の提供	授業として取り入れた学校に対するゴルフ用具の提供 (クラブ、マット等)
交通手段の確保	学校とゴルフ場施設間の交通手段の提供

2 ゴルフ部支援

項 目	内 容
指導者の派遣	学校部活動として取り入れている中学・高等学校へ定期的なプロゴルファーの派遣協力
ゴルフ場等施設の提供	定期的なゴルフ場及びゴルフ練習場等の無料開放

3 ゴルフ振興

項 目	内 容
出張ゴルフ教室の開催	ゴルフの楽しさを知ってもらう学校・学級単位の出張ゴルフ教室の開催
イベント等の開催	ゴルフ体験イベントや初心者ゴルフレッスン会の開催

(件名)

静岡県スポーツ推進計画（案）に対するパブリックコメントへの
対応について

(スポーツ振興課)

1 要旨

静岡県スポーツ推進計画（案）に対して募集したパブリックコメントへの対応
について報告する。

2 対応

意見提出がなかったため、案のとおり静岡県スポーツ推進計画を公表する。